

うらわ美術館多世代交流ワークショップ

「がようし! がようし! がようし!」

参加者みなさんで交流しながら、たくさんの画用紙を自由に使って作品をつくります。

2022年1月9日(日)

午前の回 10:30~12:30 / 午後の回 14:00~16:00

講師:横須賀ヨシユキさん(アーティスト・造形ワークショップディレクター)

佐藤佳奈子さん



さいたま市の浦和コミュニティーセンターで、マルマン株式会社と連携した画用紙を自由に使って作品をつくるワークショップにお邪魔してきました。感染対策として参加者以外の保護者の方々は机で観覧されていました。

「がようしラボ」は、画用紙を使って実験をしたり、画用紙を使って試すところみをされているそうです。始めのうちは画用紙で何が出来るのか?と不思議に思いながら、眺めていました。

画用紙をクシャクシャにすることで、画用紙が柔らかくなり破けやすくなる。破けやすくなることで、いろいろな方向にさける。画用紙の多様性に、会場にいた方々と一緒に感心しました。

そのあと、作品づくりが始まりました。参加者の方々は、画用紙を広げたりちぎったり。思い思いに作品をつくっていました。

30分の作品づくりののち、作品展示と発表。参加者の方々が似顔絵を描いた「小さな自分」を気に入った作品の好きな場所に置くことで、作品に入り込み、視点を変えて鑑賞できるようにしていました。

やってみたことで新しい発見がある。手を動かすことで頭を動かす。思いもよらない発想が浮かぶことがあるというお話が印象に残りました。

参加者の方々の作品を見て、画用紙の奥深さを感じるワークショップとなりました。